

# 聖天堂上棟式厳修～無魔完成する



平成二十二年四月二日(金)午後四時より聖天堂の上棟式を厳修致しました。

当日は前日からの風雨を心配しましたが、上棟式寸前に雨が止み、改めて仏の加護を感じました。

今回の上棟式は山田建設の職方と設計士、そして寺方というごく内輪でお勤めさせて頂きました。今後の工事が

# 泉蔵院寺報

第14号

発行/真言宗智山派泉蔵院  
住所/〒340031草加市新里町三三三  
TEL/048(927)5327  
FAX/048(927)7036  
平成二十二年九月発行



外観



内陣



外陣

安全に無事完工できま  
すように至心にお祈り  
しました。

その後工事は順調に  
進み予定通り六月末に  
完成し、七月七日に本  
堂に安置してありまし  
た聖天尊を無事にご遷  
座致しました。参拝ご  
希望の方は寺務所に声  
をかけて頂ければご案  
内いたします。

この度、無事に完成し  
ました事を檀信徒始め  
関係各位に感謝申し上  
げ報告と致します。

経過報告

地鎮式 平成二十二年

十二月十九日

上棟式 平成二十二年

四月二日

完成 平成二十二年

六月三十日

# 第二草加聖地霊園 地鎮式厳修

平成二十二年六月十日(木)午前十時より第二草加聖地霊園開園予定地にて地鎮式を厳修致しました。

当日は晴天に恵まれ、関係業者参列のもと、無事お勤め致しました。この地は伝説に由れば毛長神社や泉蔵院の由来である長者の屋敷があつた辺りであり、その地に新しく霊園を開園出来ることになり、ご縁を感じていきます。

現在ある草加聖地霊園は平成八年に開園し、多くの御霊の安息の地として現在に至っています。近年

の人口増加や地域住民の要望により更なる受け入れを考え、第二草加聖地霊園の開園に至つた訳です。

これから工事を開始致しますが、事故の無いよう協力業者と共に進めていきたいと思ひます。なお開園は今年十一月頃の予定であります。





お経、般若心経、漢字やら聞いた事のな  
いかタカナのお経やら、少し難しかった  
ようですが、すべてふりがなが振ってあったのでなんとかお唱え出  
来たようです。続いて、住職

感想文の中で一番勉強になったこと又は辛い  
いと反響があったのが、瞑想でした。普段目を  
つぶり、ゆつたりと呼吸を整える事などない  
子供達。最初に警策で我々が見本を見せま  
した。肩を叩く「パーン」という音。その音を  
聞いたせいか緊張しながら背筋を伸ばしてい  
る子が多く見られま

昼食では食作法(食事をする上での心構え)をお唱えし、皆で  
おいしくカレーやサラダをいただきました。  
午後の初めは写仏の修行。初めて仏さま  
を写す子供達。男子は不動明王。女子は観  
音様を写仏しました。写仏の後に色鉛筆で  
色を塗り、それぞれ思



一生懸命修行をしてきた子供達。待ちに待ったゲームの時間になり、楽しい時間を過ごしました。ゲームの後  
はスイカ割り。女の子から順に二十九人全員挑戦しました。皆の  
嬉しく思います。  
来年も開催予定ですので、興味のあるお子様がいましたら、ご参加をお待ちしております。  
合掌

# 第1回 泉蔵院 子供ふれあい道場開催

平成二十二年七月二十八日(水)、  
第一回泉蔵院子供ふれあい道場を  
開催いたしました。  
あい道場を開催いたし  
ました。  
八時四十分より開講式  
を行い、本尊様に手を  
合わせました。  
その後、緊張しながらも自己紹介を  
しました。  
修行の初めはお経の練習です。初めて読む

当日は連日の暑さの続く中での開催となりましたが、二十九人の元気いっぱいの子供たち(対象者小学三年



十分間の初めての瞑想体験に足が痛いなど、色々思ったようです。  
作務(掃除)の時間になり、皆協力して本堂の  
外回廊をぞうきんできれいにしてくれま  
した。



大きい仏さまが描き上  
がりました。描いた  
仏さまを本尊様にお  
供えし、朝練習した  
お経を皆で心を込めて  
お唱えしました。

最後に今日一日の修行体験を感想文に書いてもらいました。  
その後修了式を行い、無事終了する事ができました。  
今回初めての開催に当たり、子供達にだけだけのものを伝えられたかわかりませんが、子供たちがお寺の修行を通して、命の大切さや、人に対する思いやり、自分自身を律する強さ等を少しでも学んで、自分自身の心の宝にしていれば嬉しく思います。  
来年も開催予定ですので、興味のあるお子様がいましたら、ご参加をお待ちしております。  
合掌





# 西国三十三ヶ所 観音霊場巡拝の旅

4月20日(火)～  
4月22日(木)

第1回目  
4月20日(火)～  
4月22日(木)

泉蔵院に朝6時に集まり、住職さんに、「怪我のない様、又、楽しく行って来て下さい」と言う、御挨拶のお言葉を頂き、バスにて東京駅まで行き、新幹線で名古屋駅着、バスに乗りかえて、とてもきれいな海を眺めながら、一番札所、青岸渡寺に到着。

雨の中で、いつもの様に、御詠歌を唱えました。

その後、那智の滝見学、雨にけむる滝も素晴らしい眺めでした。その日は、串本温泉に宿泊。



2日目は朝から晴天、二番札所、紀三井寺。本堂までの石段は、女坂33段、男坂42段、還暦60段、厄年の石段の数になっていました。



三番札所、粉河寺参拝。バスにて1時間、施福寺の駐車場に到着、そこから険しい山道を、息を切らして何度も休みながら、下りて来る人に「後どの位ありますか。」と、聞いてしまうほど、険しい道のりでした。やっと本堂に無事到着。お勤めをさせて頂きました。この時は本当にお参りさせて頂く感謝の気持ちで、いっぱいでした。

2日目の宿泊は、大阪の全日空ゲートタワーホテルに泊り、54階のレストランで、ダイヤ



モンドを散りばめた様な、夜景を見ながらの、おいしい食事をいただき1日の疲れも、すっかりとれました。

3日目は、朝からはげしい雨の中、葛井寺に参拝。それから奈良の長谷寺に着き、雨がたくさん降っていましたが、登廊だったので、雨にぬれずに行ける事が出来

ました。お勤めの後、本堂内を拝観して、結縁の五色線を頂きました。

十年に一度の御開帳にあたり、日本最大級16m46cmの長谷寺本尊十一面観世音菩薩御影大画軸(室町時代)を拝観する

事が出来ました。又、ぼたんの花の名所ですけれど、まだ、ちらほら咲いているだけでした。門前で昼食後、番外の法起院にて、西国第一回目の最後のお勤めを終わりました。



その後、新幹線の時間があると言うので、名古屋の近くの、智山派の大須観音にお参り、門前を散策して、名古屋駅から帰宅の途に着き泉蔵院に無事到着。

(記)3班 荒井、森、関

# 大施餓鬼会厳修

平成二十二年八月十日(月)午後二時より  
大施餓鬼会を厳修致しました。

法要に先立ち川口市新堀にあります正源寺住職荒井真道師よりご先祖について法話を頂きました。

続きまして、御詠歌講のお唱えする「同行和讃」奉詠の中を導師職衆の入堂。

厳肅に法要が営まれました。導師が奉読する施餓鬼文の中で新益精霊お一人お一人のお戒名を唱え、新益精霊及び多くの精霊が安らかなることを至心にご回向致しました。参列の檀家の皆様方もそれぞれの思いを焼香に託



し、真心込めてお祈りしておりました。

本年はととても暑い中で厳修となりましたが、例年通り多くの方に参拝頂きました。

又、七月、八月の盆及び施餓鬼に際し、ご供養の品、お布施をお供え頂きました事をここに深く感謝申し上げます。

## お釈迦様の言葉

匙は器につけども、  
その味を知ることもなし

(法句経六四)

いくら高貴な人物や高貴な宝があつても、その人物の良さや、宝の価値がわからなければ、かえつて宝の持ち腐れになつてしまふ。

私達も日々の生活の中で、お釈迦様の教えをスプーン

それはちょうど皿のそばに置かれて、おいしい食べ物を人の口に運ぶ役目を果たしながら、スプーン自身は味を知らないようなものである。

お釈迦様の直弟子のアーナンダは、二十五年間もお釈迦様に仕え、熱心

日々修行に励んで頂きたいと思ひます。

## 今後の行事案内

みらいみんよう 実演会

九月二十三日(祭)午後三時

於 泉蔵院本堂

※尺八・三味線・民謡の

ブ口の会の演奏会です。

この機会にどうぞ

お楽しみ下さい。(無料)

大護摩供並びに落語寄席

十一月二十八日(日)

十三時三十分より 落語寄席

三遊亭春馬師匠

十四時三十分より 大護摩供

除夜の鐘

十二月三十一日(金)

午後十一時四十五分より

元朝大護摩供

元旦午前〇時より



## 編集 雑記

今年の夏は、三十五度前後の猛暑の日々が続き熱中症で病院に運ばれる方も大勢いたようである。

私の子供の頃は三十度前後の日が多く今の様に暑くなかったように思う。ゲリラ豪雨や猛暑日など、夏を平穩に過ごすのも大変な時代である。

秋の彼岸を迎え幾分暑さが和らいましたが、夏の疲れが出てくる頃ですので、お体をご自愛頂き日々をお過ごし頂きたいと思ひます。

(小宮山学道記)